



クリスティー・マツカワ
Christie Matsukawa
アメリカ出身

こんにちは!

今年8月に私は、アメリカ、カリフォルニア州のロサンゼルスに帰省し、素晴らしい体験をしました。もちろん、たくさんおいしい物を食べて、懐かしい場所を訪れましたが、一番の思い出は家族と会えたことです。

さて質問です。「日系って何でしょう?」私の家族の写真をみると分かるように、みんな日本人のように見えます。なぜなら、私たちは日本人ですから。しかし、私たちはアメリカ人でもあるのです。だから、日系を簡単に言うと、日本人であるアメリカ人ということですが、定義するのはやさしくありません。これを定義することは、少ない言葉で文化を定義するようなものだからです。

私の家族の歴史について簡単に説明します。写真にも写っている私の父の両親は広島で育ちました。第二次世界大戦後、彼ら

の恋愛は親から反対されたこともあり、アメリカで新しい生活をしようと日本を出国しました。アメリカに到着し、私の父と叔母が生まれました。

私の父は、アメリカで生まれ、祖母が教えてくれる日本の文化の影響を受けながらアメリカで育ちました。そして30代の時に私の母と出会いました。母は千葉県出身の日本人で、20歳の時に家族と共にアメリカへ移り住みました。二人は結婚して、私が1989年に生まれました。

だから私は、アメリカで生まれ育ち、私の両親と祖父母が教えてくれた日本の影響を受け、日系アメリカ人として素晴らしい人生を生きてきました。私はどういう人間なのか決める基本は文化だと思います。私は二つの国の文化を持っており、自分の家族と今日の私を導いてくれた私の家族を誇りに思っています。



図書館の おすすめ本

市立図書館
☎ 0956 - 72 - 4677

松浦市ホームページで
「松浦市立図書館」を検索

『できる大人のひとこと手紙』

むらかみかずこ/高橋書店

コミュニケーションは電話やメールが主という人も手書きの手紙を書いてみませんか?本書で紹介されているのは、それぞれのシーンに合った数行の「ひとこと手紙」。短い文ですが受け取った人の心に響きます。手書きの一言が持つ優しさを日々の暮らしに。



『こちら動物のお医者さん チビ犬どんでんがえし』

ルーシー・ダニエルズ/ほるぷ出版

動物好きなマンディは、耳の聞こえないジョーイと仲良くなりました。ジョーイのお母さんは動物が苦手。ジョーイのために、どうしたら犬を飼ってもらえるのかな?大人気シリーズ10巻目が届きました!



◆◆◆あかちゃん・子どものお気に入り◆◆◆

このコーナーでは図書館に来てくれたあかちゃんや子どもたちのお気に入りの一冊を紹介します



星鹿町下田免の峯元遥子ちゃん (1歳)

【お気に入りの本】

『わたしのワンピース』 にしまきかやこ/さく こぐま社

【お母さんからひとこと】

本を読むのが好きな子になってほしいと思っているので、機会があればたくさん絵本を見せています。最近は自分で絵本をながめるようになり、いつも自分でめくって遊んでいます。お気に入りの絵本は「わたしのワンピース」と「はらぺこあおむし」です。図書館のおはなし会も時々利用しています。絵本の読み聞かせだけでなく、手遊びなどもあって子どもも楽しんでいるようです。

※図書館ではお母さんとあかちゃんの来館もお待ちしています!

中世の松浦 (58) 鷹島海底遺跡

写真の遺物は、平成14年度の神崎港の確認調査で出土した太刀の鞘の破片です。

鞘の表面には黒色の漆が施されていますが、部分的に漆が剥離している箇所もあります。漆の厚みは1・3ミリ～1・5ミリで、2条の盛り上がりがあり、両面の端の位置にあります。その一端には漆の皮膜が盛り上がり、1・35ミリ×0・71ミリの孔が2カ所あるのを確認できます。さらに、扁平に圧縮して鞘の形の長楕円形に整形しています。鞘は全長14・2ミリ、幅5・79ミリ～5・97ミリ、厚さ1・98ミリ、重量は90・1ミリあります。内径は幅5・02ミリ、内側中央部の最大厚9・8ミリ、上下両端付近では2・4ミリを呈しています。この太刀の部分的な厚みや幅もこれらの内径の法量に基づくものと考えています。

この鞘は、平成15年3月刊行の調査報告書では竹質としていましたが、その後の京都大学の伊東教授の樹種同定の結果、6・0ミリの厚さをもつコウヨウザンと判明しました。コウヨウザンは日本や韓国には分布しておらず中国南部に大量に分布が見られるスギ科の常緑針葉樹であることから、元の兵士が持っていた太刀がこの鞘に収納されていたと思われませんが、太刀の方は発見されていません。未だ、海底に眠っているのでしょうか。



▲ 漆塗太刀鞘

③ 第1回
景観まちづくり協議会

景観づくり通信

○問合せ先 都市計画課都市計画係 ☎内線 252、253

10月3日に、福島公民館において、「第1回福島地域景観まちづくり協議会」が開催されました。

この協議会は、福島町における景観まちづくりの具体的な進め方を検討する会議で、住民、九州大学および福岡大学の学識者、市職員、総勢54人が参加し、現地調査や関係者ヒアリング調査の結果を踏まえ、そこから見えてきた地域の課題について協議を行いました。

また、10月4日には、市役所において、「第1回ひやーし景観まちづくり協議会」を開催し、松浦独自の景観資源であるひやーし(高生垣)を解明するための調査方法などについて、景観、文化財、建築、造園などの専門家6人と協議を行いました。

第2回福島地域協議会は11月20日(水)に、ひやーし協議会は22日(金)に開催されます。

【お願い】

ひやーしの歴史に関する情報を探しています。起源や呼び方の由来を知っている、ひやーしが写っている古写真や絵画を持っているなど、お心当たりのある人はご一報ください。



▲ 10月3日 福島協議会の様子